

学会便り： パリエアショー出展報告

NEC 東芝スペースシステム 都丸寛子



パリエアショーに SJAC 参加企業の一員として参加しましたので、簡単に概要を報告します。

1. パリエアショー・マイルストーン

展示ブース設営作業	: 6/12 ~ 6/13
開会式およびプレスデー	: 6/14
パブリックデー	: 6/15
トレードデー	: 6/16 ~ 6/20
パブリックデー	: 6/21 ~ 6/22
展示ブース撤収作業	: 6/23 ~ 6/24

2. 日本(SJAC)ブース出展企業(全 11 社)

住友精密、川崎重工業、石川島播磨、NTSpace、IHI エアロ、島津製作所、カヤバ工業、帝人製機、富士重工、三菱重工、三菱マテリアル

3. 日本ブースへの関心度

前回のエアショーに比べて、全体的に訪問者が減った。また宇宙関連の展示が減ったことから、訪れる宇宙関連業者も減少。訪問者はそこそこ多くても、ただ見に来るだけ、もし



くはデモ目当ての人が多かった。SJACスタンドは、予算の関係上、パネルサイズが、90*60cmと決まっていること、また電気内蔵式パネルが各社1枚という制限があったことから、迫力にかけた。



4. SJAC (日本) スタンドと、海外

スタンドの違い

日本のスタンドは、展示品を必ず出展し、展示品には説明書き(キャプション)を置き、パネルは、説明用のパネルとなっていて、自社製品を紹介することをメインにしているが、海外のスタンドに多く共通している点は、ブースを客先と話すための場所(サツ)として使用しており、そのため、ソファやテーブルなどが必ず置いてある。展示品はあまりなく、あったとしても、紹介するためというよりは、スタンドのデザインの一部として飾られている。パネルは基本的になく、壁自体がパネルになっていて、展示品同様、スタンドのデザインの一部となっている。またプラズマを数台置き、知りたい情報を自分で調べられるようになっている。よって海外のスタンドは迫力があつた。



5. その他

前回と大きく変わったと思われたのは、海外ブースに Give Away が無くなったことである。言えはくれるが、置いてはいない。置いてあるのは、チョコやアメのみであった。

以上